

地域活性化伝道師プロフィール		分野	地域産業・イノベーション・農商工連携	◎	農・林・水産業	
			地域医療・福祉・介護、教育	◎	観光・交流	
			地域コミュニティ・集落再生		環境	
			地域交通・情報通信		まちづくり	
ふりがな		こばやし ひでし				
氏名		小林 秀司				
所属	名称	株式会社シェアードバリュー・コーポレーション				
	役職	代表取締役				
連絡	住所	(公開)	〒101-048			
			東京都千代田区神田司町 2-17 TAIICHIビル 3F			(職場)
	連絡先		E-mail kobhid[アットマーク]sharedvalue.co.jp			
			TEL 03-5259-7722	FAX 03-5259-7721		
連絡方法		E-Mailでお願いします				
略歴		<p>株式会社シェアードバリュー・コーポレーション代表取締役。1960年生まれ。法政大学大学院政策創造研究科卒業(政策学修士)。社会保険労務士。☑株式会社日本マンパワー退職後、1997年に独立し現職。</p> <p><専門></p> <p>☑ 人を大切にする人本経営の実務指導</p> <p>☑ 企業における障がい者雇用成功のための実務指導</p> <p>☑ 人本経営で地域を活性化させている企業・行政の視察企画</p> <p>・ 大学生、高校生に対する「いい会社」についてのキャリア授業</p> <p><公職等></p> <p>☑ 法政大学大学院中小企業研究所特任研究員歴任</p> <p>☑ 四国経済産業局顕彰事業委員</p> <p>・平成24年度四国経済産業局「構造変化にもたじろがない中小企業経営者の創出に係る調査事業」受託</p> <p>・厚生労働省委託「精神障害者等雇用優良企業認証事業委員会委員長」</p> <p>・国立島根大学非常勤講師 島根県立大学非常勤講師 『実例 中小企業経営論』</p>				
著作・論文等		<p>2010年6月書籍「元気な社員がいる会社のつくり方～日本でいちばん大切にしたい会社から学ぶ理念経営」(アチーブメント出版)</p> <p>2014年9月書籍「人本経営～きれいごとを徹底すれば会社は伸びる」(Nana ブックス)</p> <p>2022年5月書籍「パワハラがない職場のつくり方」(アニモ出版)</p>				
取組概要		<p>全国都道府県に出かけて人を大切にする「いい会社」の視察や調査、発掘をしています。これまで企業訪問した数は880回。その現場での研究成果啓蒙講演、企業での人本経営実践の研修・コンサルティングが主業務。また、経済産業局や自治体、中小企業家同友会、中小企業団体中央会、商工会議所など行政や経営者団体からご依頼を受けて講演セミナーを開催しています。</p>				

※ 公開できる情報のみ掲載しています。

※ 依頼・相談等に伴う謝礼等条件につきましては、双方協議の上、決定してください。

※ メールの送信は、[アットマーク]を@に置き換えて行ってください。

	<p>【講演・シンポジウム・セミナー活動実践例】「人を大切にする経営」 日本青年会議所愛知ブロック協議会シンポジウム・「真の企業経営とは？地域に根ざし、愛される経営」 四国経済産業局・「元気な社員がいる会社のつくり方 労使で築く生き活きとした職場」 栃木県小山労政事務所・「障がい者雇用が切り開く新たなフロンティア」 高知県中小企業家同友会・「栃木でいちばん大切にしたい会社を目指そう！」 栃木県中小企業家同友会・「島根県幹部候補向けマネジメントセミナー」 島根県商工労働部 「若手後継者育成事情」・秋田商工会議所 「人を大切にする'人本経営'の始め方」・長野県青年中央会など</p>		
<p>メッセージ</p>	<p>「採用の成功」「低離職率」「好業績」 この3つは現代企業におけるこの新三種の神器です。人手不足が常態化した今の時代、すべての企業に課せられた命題です。その命題を解決するのが、人を大切にする「人本経営」です。指導した人本経営実践企業では下記のようなことが現実に起きています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・離職率 30%⇒0% (卸売業)・1度の求人機会に10人もの新規採用を実現(製造業)・顧客が転職したいと履歴書を持参(保育園)・コロナ禍をものともせず全員一丸となって信じがたい日商を重ね臨時ボーナス支給(飲食業) <p>「人本経営」を実現し、成功するための各種サポート事業(講演等)をお引き受けします。</p>		
<p>関連ホームページ</p>	<p>http://www.keieijinji.com</p>	<p>活動エリア</p>	<p>全国</p>

※ 公開できる情報のみ掲載しています。

※ 依頼・相談等に伴う謝礼等条件につきましては、双方協議の上、決定してください。

※ メールの送信は、[アットマーク]を@に置き換えて行ってください。